

帰省客らひととき満喫

北川ふるさと夏まつり盛況

延岡

第27回北川ふるさと夏まつりが14日、延岡市北川町夕府地区の北川運動公園に開かれた。ステージイベントや盆踊り、花火大会



オープニングで太鼓演奏を披露するくまた保育園園児(北川ふるさと夏まつり、延岡市北川町)

会があり、町内や帰省中の出身者、町外からも大勢が訪れて楽しいひとときを過ごした。同夏まつり実行委員会(池田功会長)主催。

飛び入りカラオケの後、くまた保育園の5歳児20人が見事な太鼓演奏を披露しオープニングを飾った。

開会行事に続き、スタジオコスモのダンスやMIKIの弾き語りライブなど、多彩なステージイベントがまつりに花を添えた。

会場には出店が並び、家族連れや若者のグループなどが思い思いに買い物を楽しみ、盆踊りでは踊りの輪が広がった。クリンタイムでは全

員が1帯を清掃。最後に花火大会で約千発を打ち上げ、まつりを締めくくった。

伝統のアユ漁に歓声

延岡市 北川町 矢ヶ内川でチヨン掛け大会

「チヨン掛け」と呼ばれる伝統漁法でアユ釣りを楽しむ「鮎(あゆ)のチヨン掛け大会」が14日、延岡市北川町の小川支流矢ヶ内川であった。

第27回北川ふるさと夏まつりの一環行事として開催。北川漁業協同組合(長瀬一己代表理事組合長)が主催した。

チヨン掛けは、釣り針が付いたゴムで伸縮する仕掛けを、長さ1・5メートルの区間に約350匹のアユを放流。水着姿の子供たちが先にとさおを伸ばし、スイスイと泳ぐアユにらめっこ。タイミング良く引っこ、タイミング良く引っこ、フルフルととさおを震わせるアユの姿に大

きな歓声を上げていた。また、ウェットスーツやシュノーケルを身に著けた参加者の姿もあり、水面を移動したり、待ち構えたりしながら次々と釣り上げていた。

同町の実家に帰省中に家族で参加したという児玉悠仁君(4)は「いっぱい捕まえたよ」と、網いっぱいのアユを見てうれしそうに話していた。



さおを伸ばしてアユを狙う子供たち(延岡市北川町松瀬、小川支流の矢ヶ内川)